

楽読
(ラクヨミ) Vol. 1,450

ボルソナロ新政権の舵取りが注目されるブラジル ～改革の道筋がつけば、中長期的な評価は向上へ～

Raku
Yomi

楽読(ラクヨミ)

nikko am
fund academy

ブラジルでは、汚職撲滅や治安回復、さらに構造改革による経済立て直しなどの政策を掲げ、昨年10月の大統領選挙で勝利した、元軍人で右派のボルソナロ氏が2019年1月1日に大統領に就任し、22年末までの4年間の任期がスタートしました。滑り出しは上々で、これまでのところ、通貨、株価とも堅調な推移となっています。ただし、新政権の真価が問われるのは、連邦議会の会期が始まる2月からと考えられます。

国民からの期待が高い汚職撲滅や治安回復に向け、ボルソナロ新大統領は、連邦地裁判事としてルラ元大統領らの汚職を追及した実績を持ち、国民から信頼が厚い、モロ氏を法務・公安相に任命しました。また、少数政党が乱立するブラジルでは、政権与党が閣僚ポストなどを差し出し、他党から協力を取りつけることが常態となっていました。新政権は、汚職につながりかねないとしてそうした手法に甘んじることなく、組閣に当たり、政界の外から各分野の専門家を登用することを優先しました。さらに、効率化や支出抑制などに向け、閣僚ポストを前政権の29から22へ削減しました。こうした采配は、これまでのところ、国民の支持を得るのに寄与している模様です。

また、構造改革については、財政規律を重視する経済学者で、市場から信頼の厚い、ゲデス氏が経済相に就き、年金制度改革、民営化、租税簡素化、経済の対外開放を掲げたことなどから、市場や産業界で期待が高まっています。なお、財政赤字の主因とされる、世界的にも手厚い年金制度の改革が優勢課題であるものの、国民の負担増につながるなどから、議会で十分な支持を得るのには容易でないといわれています。こうした中、前述のとおり、新政権は閣僚ポストと引き換えの協力要請を他党にもちかけるようなことはせず、個別の案件ごとに党派を超えた支持の拡大を目指すとしています。その成否は、大統領や政権が汚職撲滅や治安回復などで実績を上げ、国民からの支持をいかに高めることができるかにかかっていると考えられます。

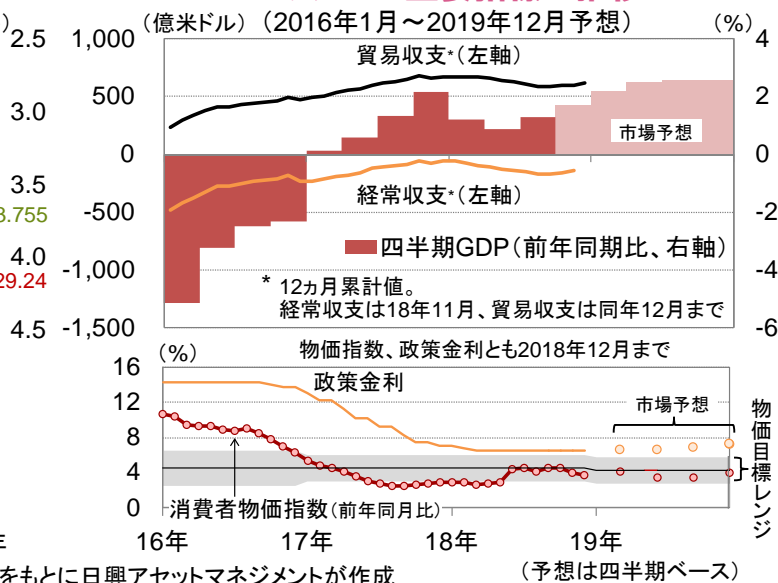
新政権の改革姿勢が積極的であればあるほど、期待が高まる半面、議会の抵抗もその分強まり、具体的な政策の内容が薄められ、市場の一時的な失望につながる可能性がある点に注意が必要です。それでも、改革に道筋をつけ、政治機能の回復を示すことができれば、ブラジルの中長期的な評価は高まると考えられます。

ブラジルの通貨レアルと株価の推移



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

ブラジルの主要指標の推移



※上記は過去のものおよび予想であり、将来を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。